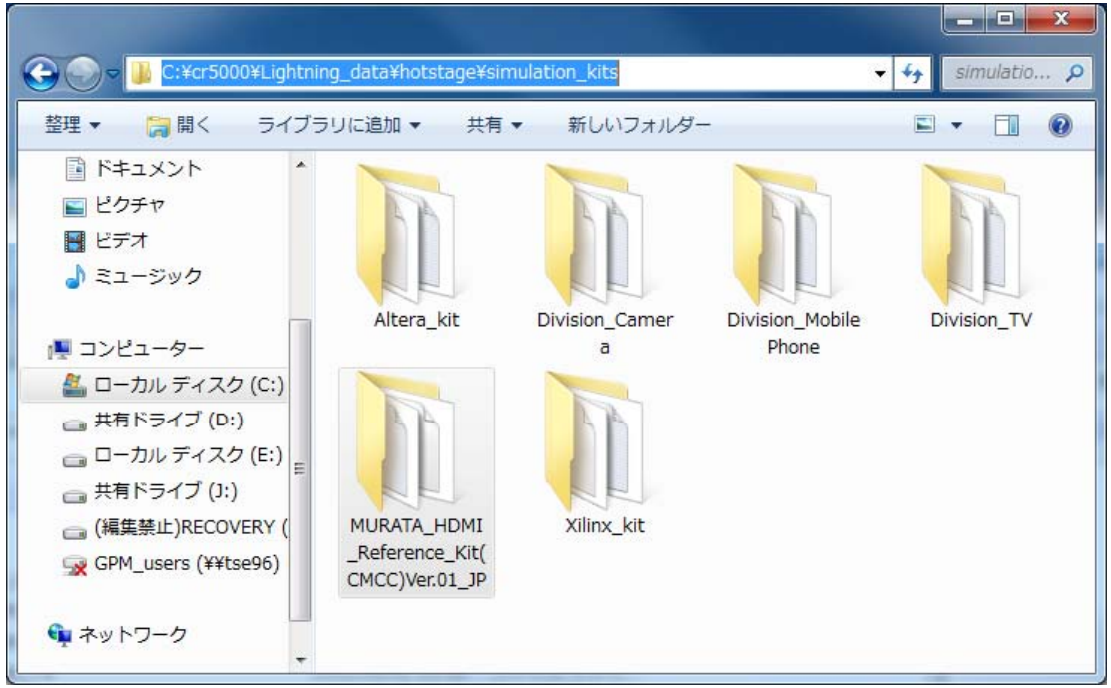
Murata_HDMI_Reference_Kit(CMCC)Ver.01_JPの使用について

当キットのセットアップ方法

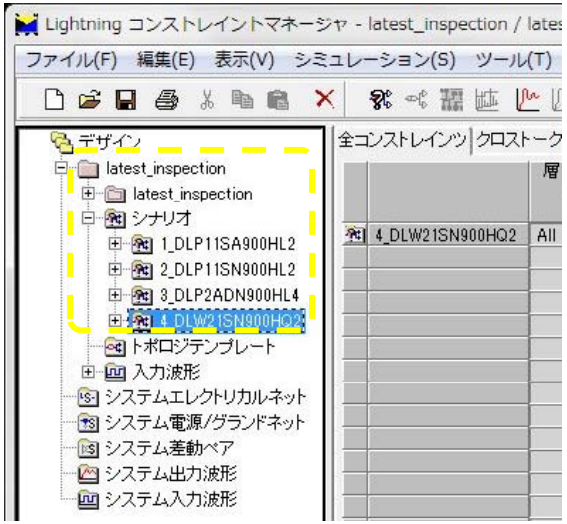
CR-5000/Lightning インストールフォルダ(標準:C:¥cr5000)に
Lightning_data フォルダがあります。このフォルダにhotstage¥simulation_kitsフォルダを
作成し、当シミュレーションキットのZIPを解凍して格納します(下図参照)。

※ 環境変数 red_data を定義している場合は、上記パスよりも変数値のパスを
優先的に参照していますので、変数値の場所を確認してください。



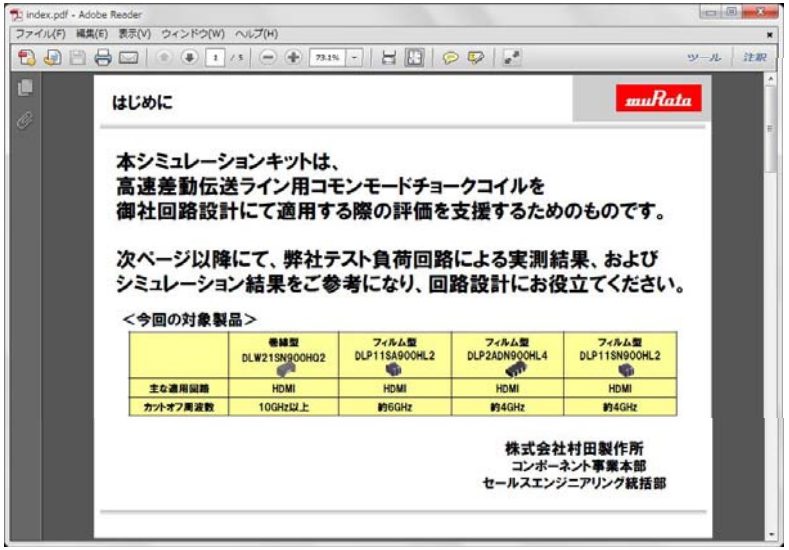
シミュレーションキットの
インポート方法

Lightningを起動し、メニュー[ファイル]-[インポート]-[シミュレーションキット]として、
当シミュレーションキットをインポートします。
『シナリオ』と『入力波形』のツリーにモデルが追加されます。



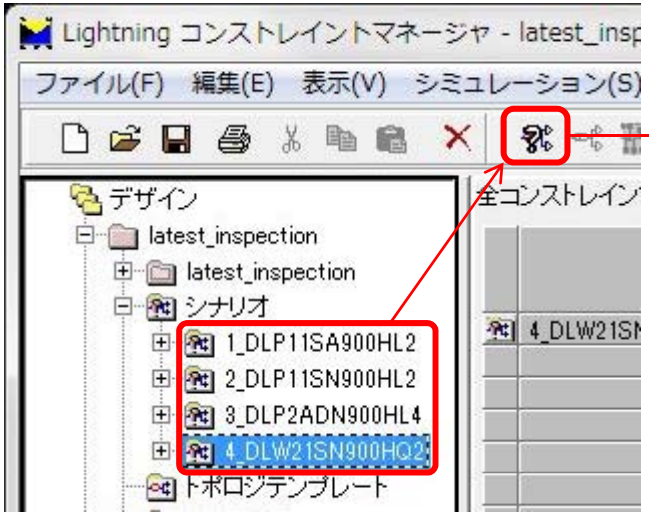
当キットの解説PDF参照方法

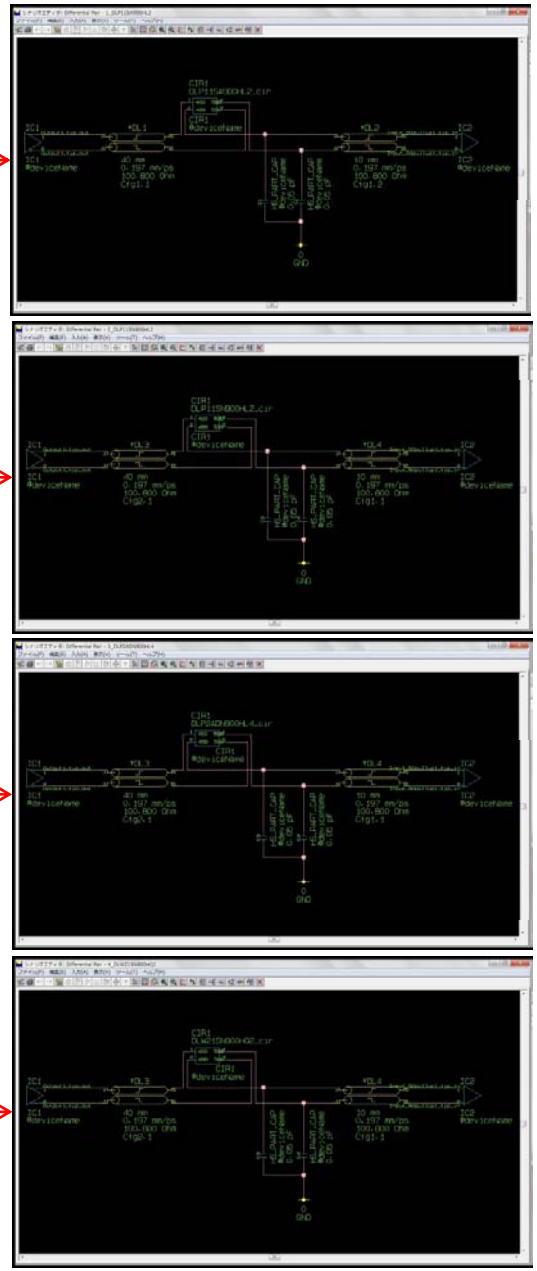
メニュー[ヘルプ]- [シミュレーションキット]とすると、
シミュレーションキットの概要説明PDFが参照できます。



伝送線路モデルの確認方法

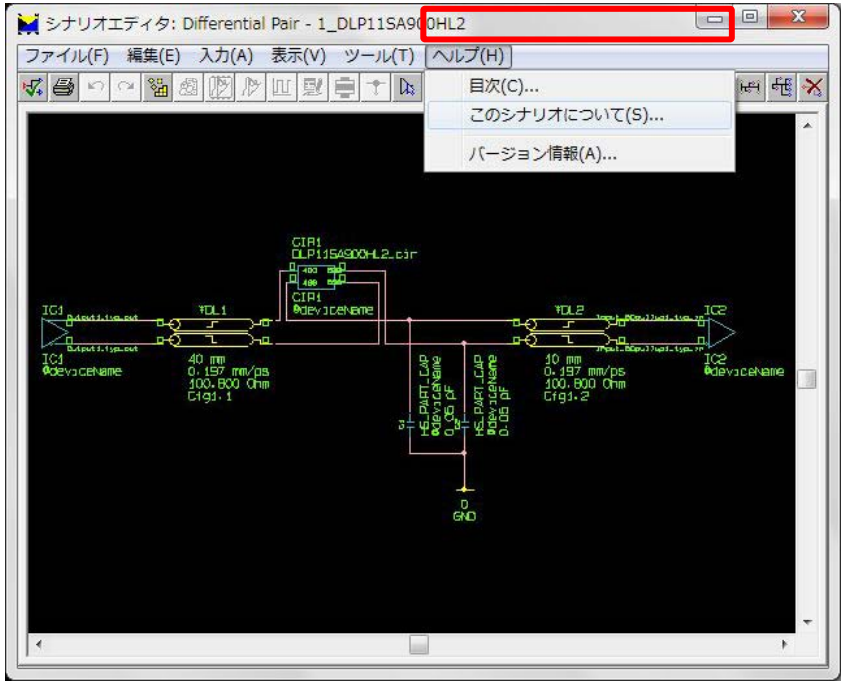
ツリーからシナリオを選択し、各製品の
伝送線路モデルを表示させることができます。

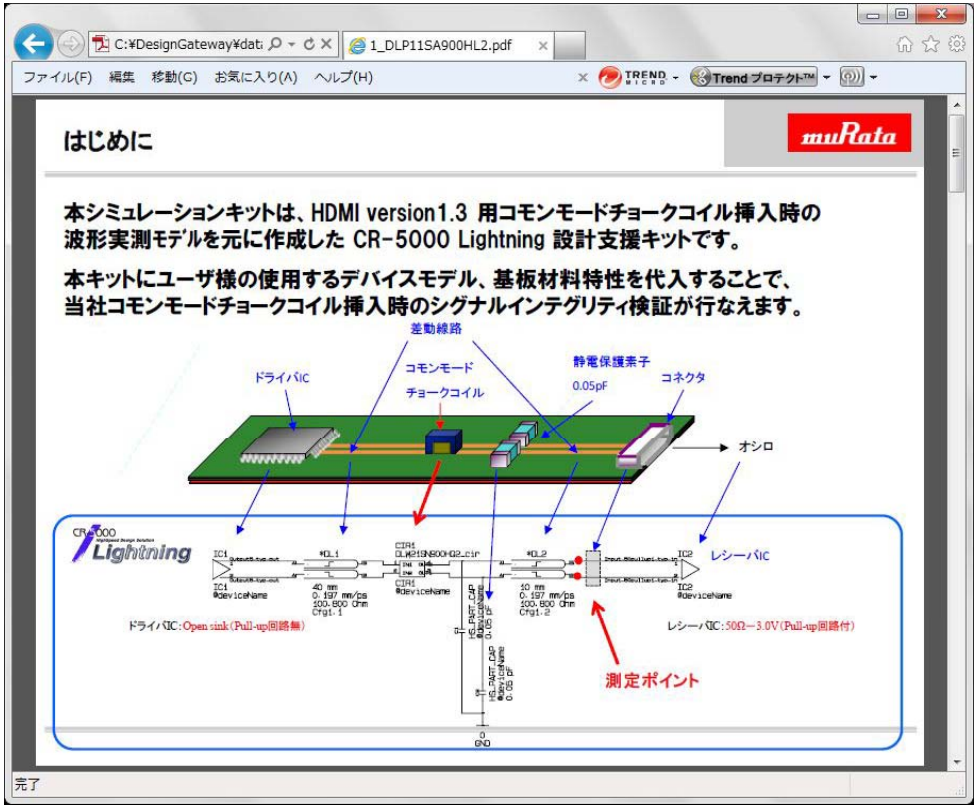




伝送線路モデルの解説PDFの参照方法

メニュー[ヘルプ]-[このシナリオについて]から
伝送線路モデルを概要説明PDFを参照することができます。

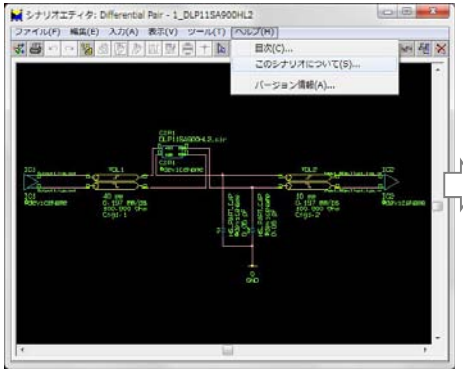


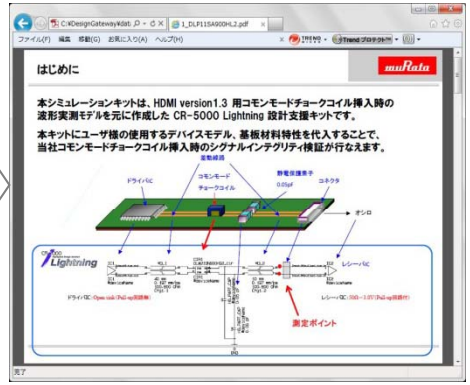


伝送線路モデルの解説PDFの参照方法

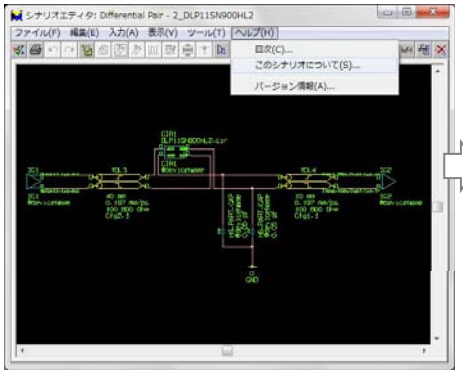
当キットに含まれる全ての伝送線路モデルに概要説明PDFが用意されています。

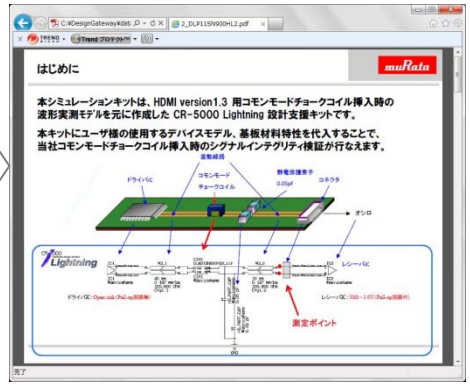
1_DLP11SA900HL2



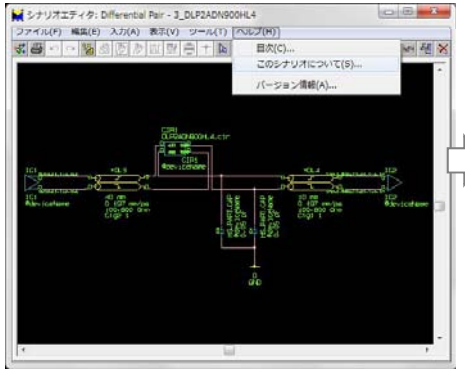


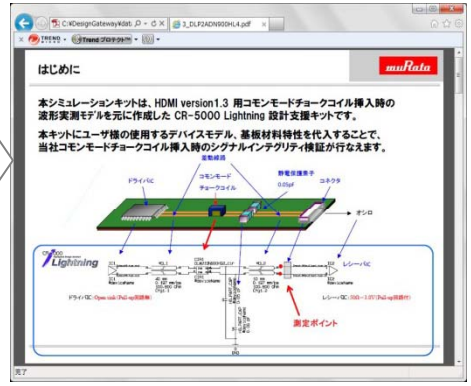
2_DLP11SN900HL2



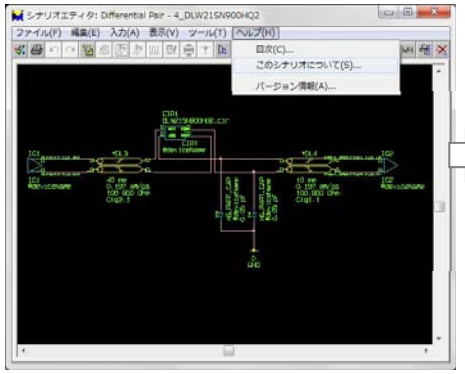


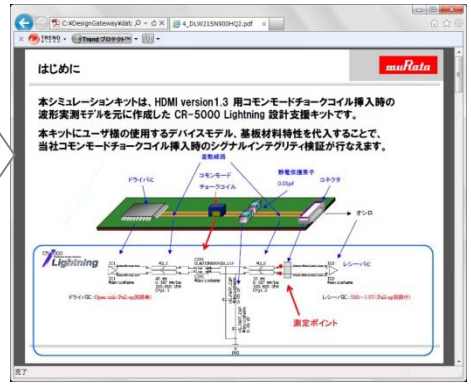
3_DLP2ADN900HL4





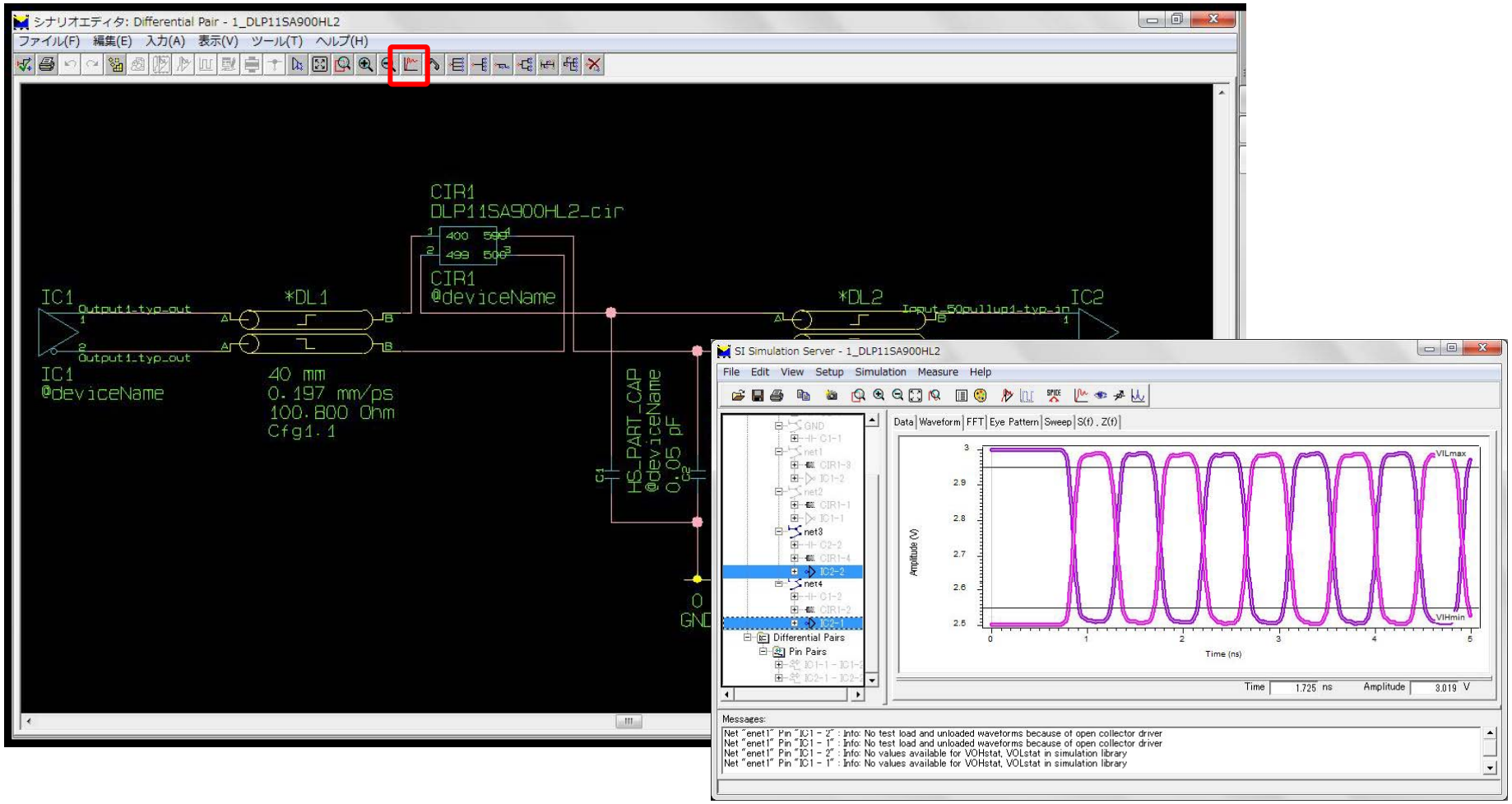
4_DLW21SN900HQ2





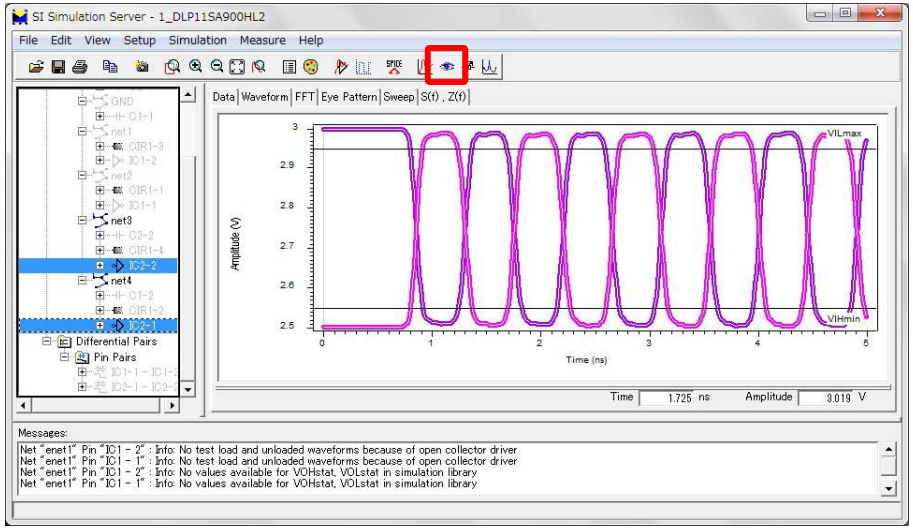
波形の確認方法

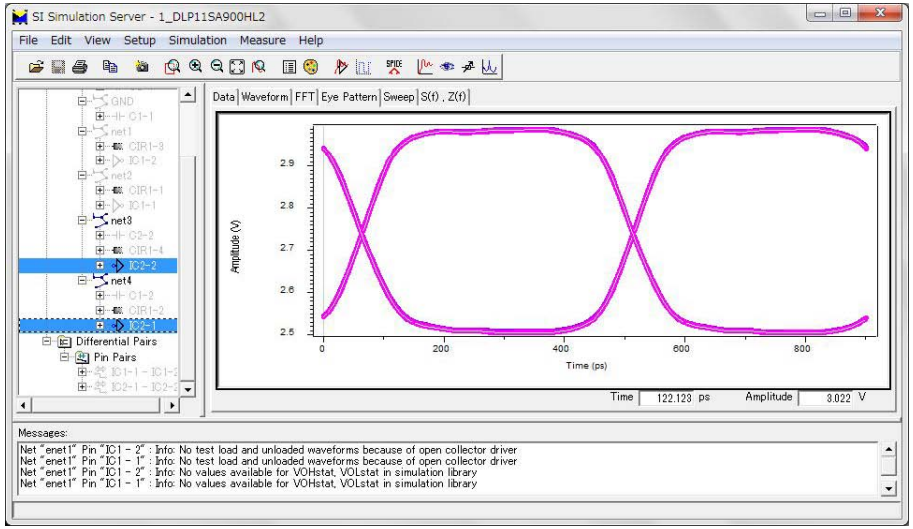
[シミュレーション]アイコンから、キャンバス上の伝送線路条件で波形結果を確認することができます。



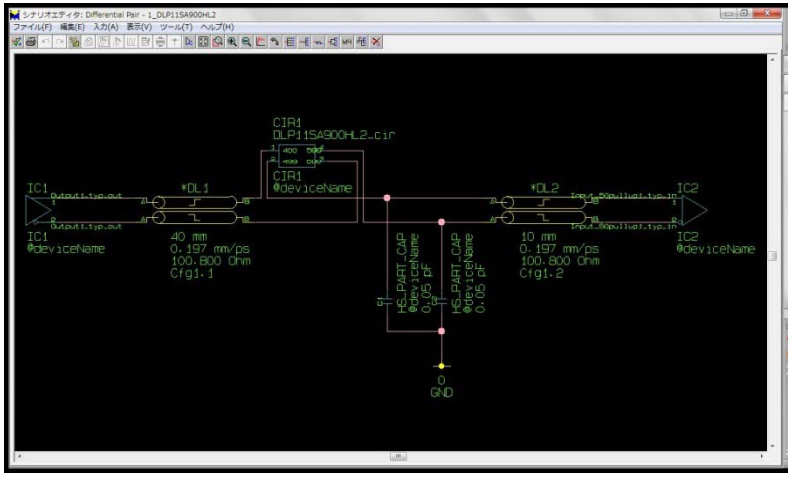
波形の確認方法

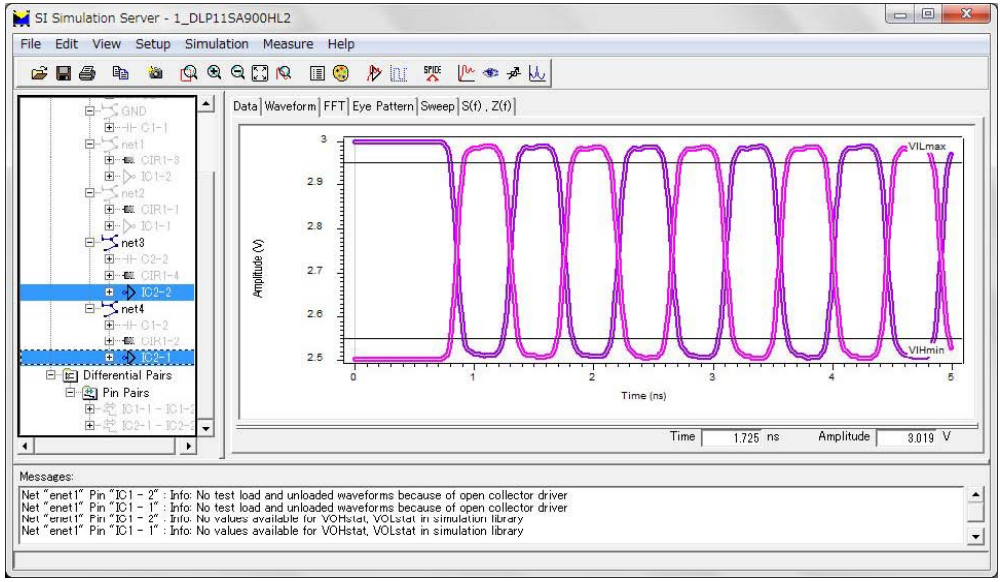
[Eye Pattern]アイコンで、波形結果をアイパターン表示できます。

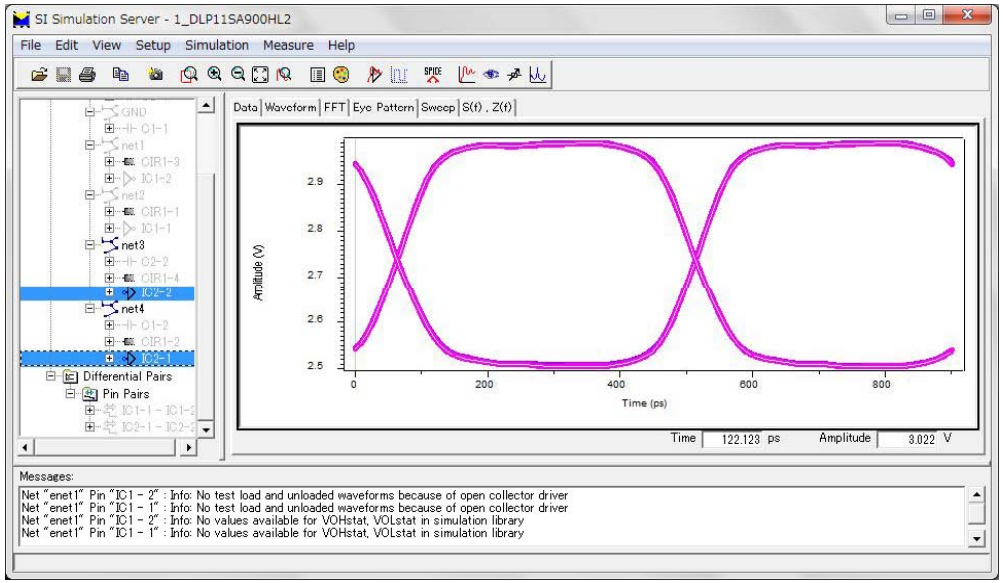




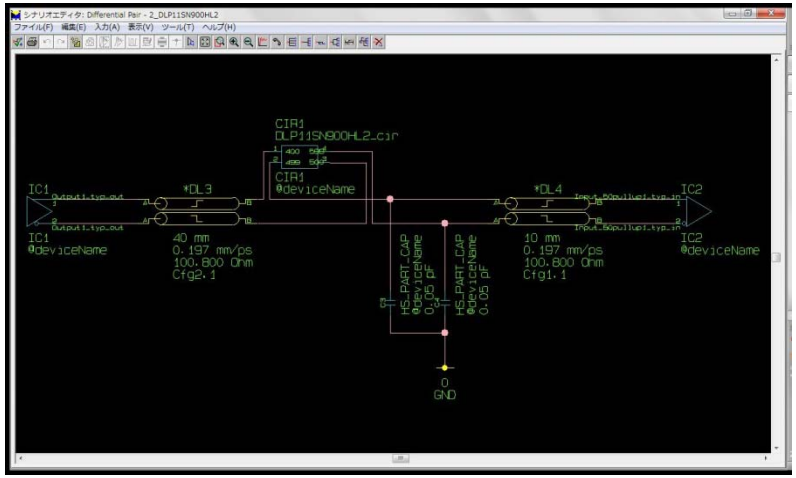
【補足】1_DLP11SA900HL2

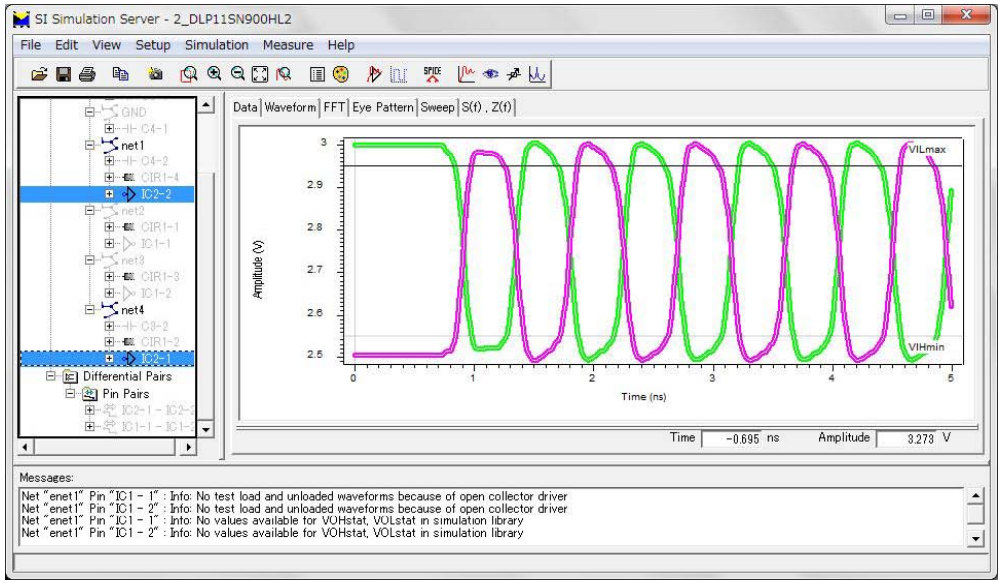


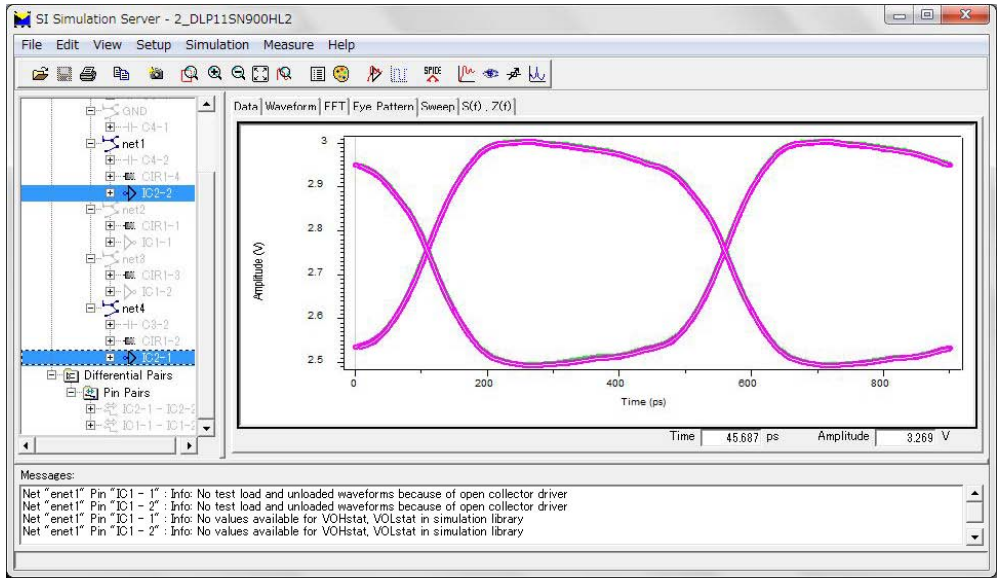




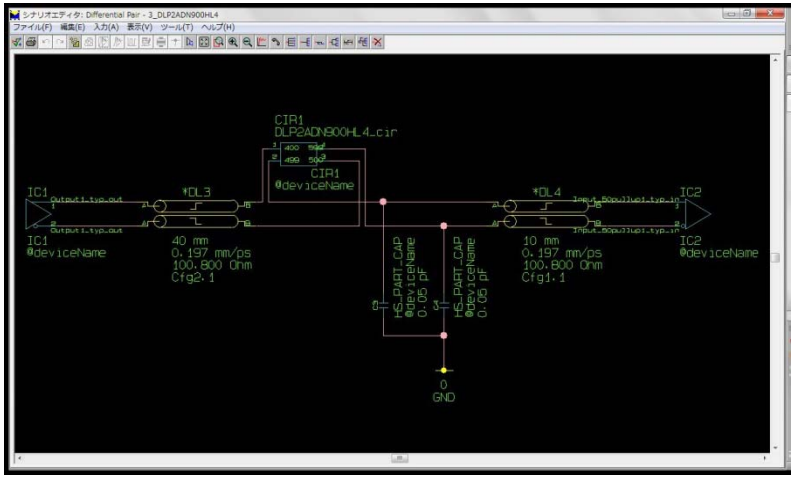
【補足】2_DLP11SN900HL2

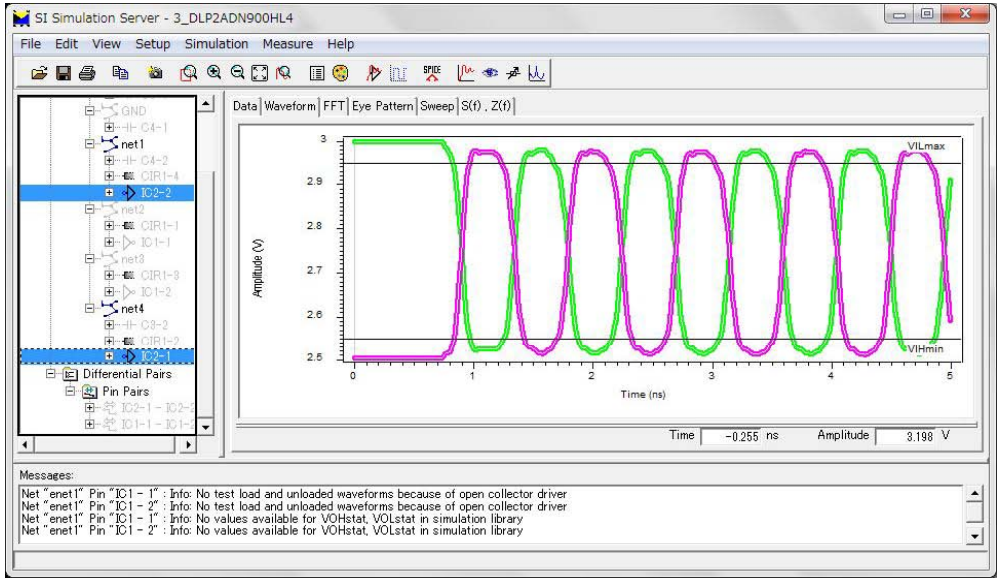


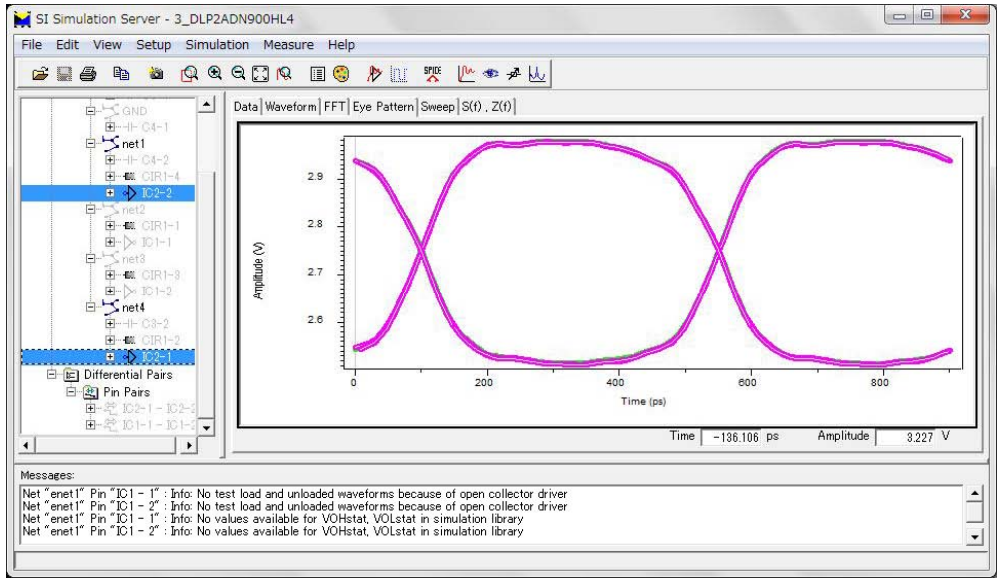
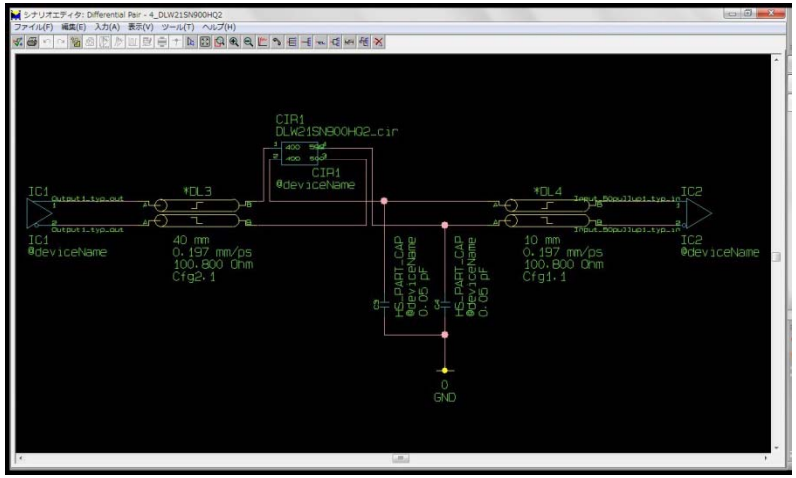
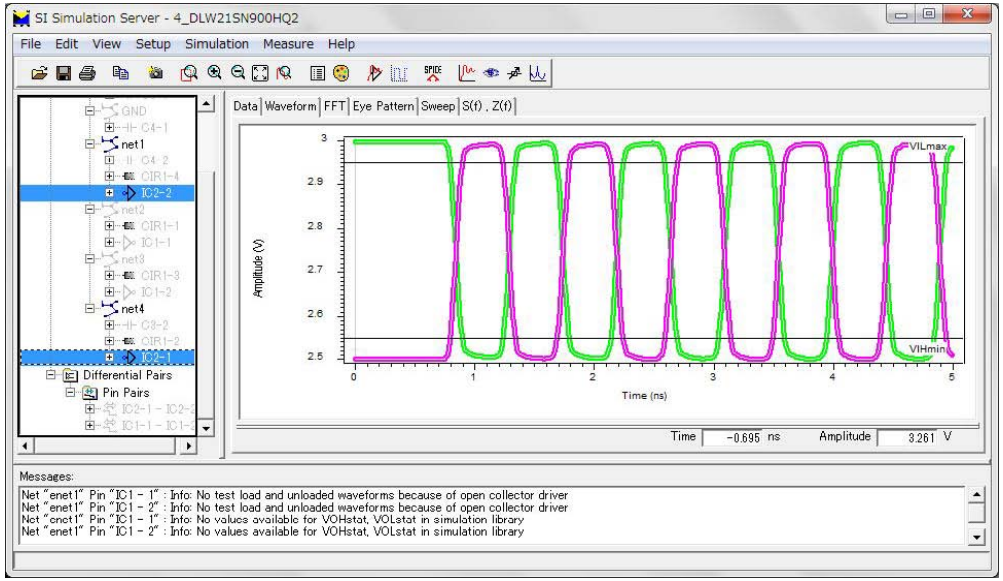
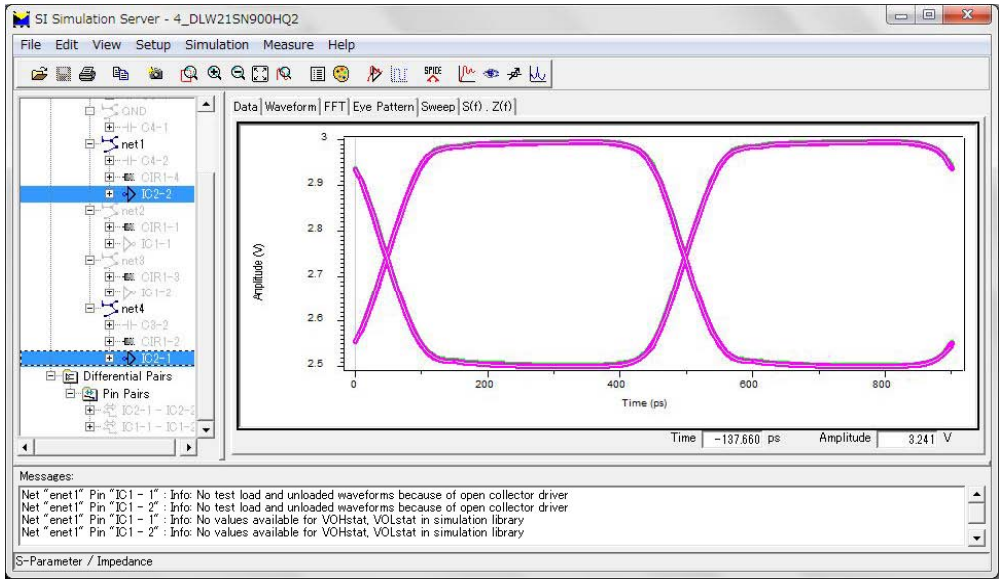




【補足】3_DLP2ADN900HL4







【補足】4_DLW21SN900HQ2